環境経営レポート

期間　51 期（2025 年 6 月 1 日～2026 年 5 月 31 日）

発行　2026 年 7 月 16 日

松栄電設工業株式会社

目次

会社概要	・・・	Ｐ１
ＥＡ２１実施体制	・・・	Ｐ２
環境経営方針	・・・	Ｐ３
環境経営目標	・・・	Ｐ４
環境経営計画と評価	・・・	Ｐ５
環境活動	・・・	Ｐ６
活動実績	・・・	Ｐ９
活動実績グラフ	・・・	P10
環境関連法規等	・・・	P11
代表者による全体の評価と見直し	・・・	P12

会社概要

1．事業者名及び代表者名
松栄電設工業　株式会社
代表取締役　木村　和由

2．所在地
本社　大分県大分市三佐一丁目１０番１３号

3．環境管理責任者および連絡先
環境管理責任者　　：　総務部 次長
TEL：097-521-7181 FAX：097-521-4603

4．事業規模
資 本 金　　：　32,000,000 円
社 員 数　　：　51 名（2026 年 6 月 1 日現在）
事業所延床面積　　：　299.34 ㎡

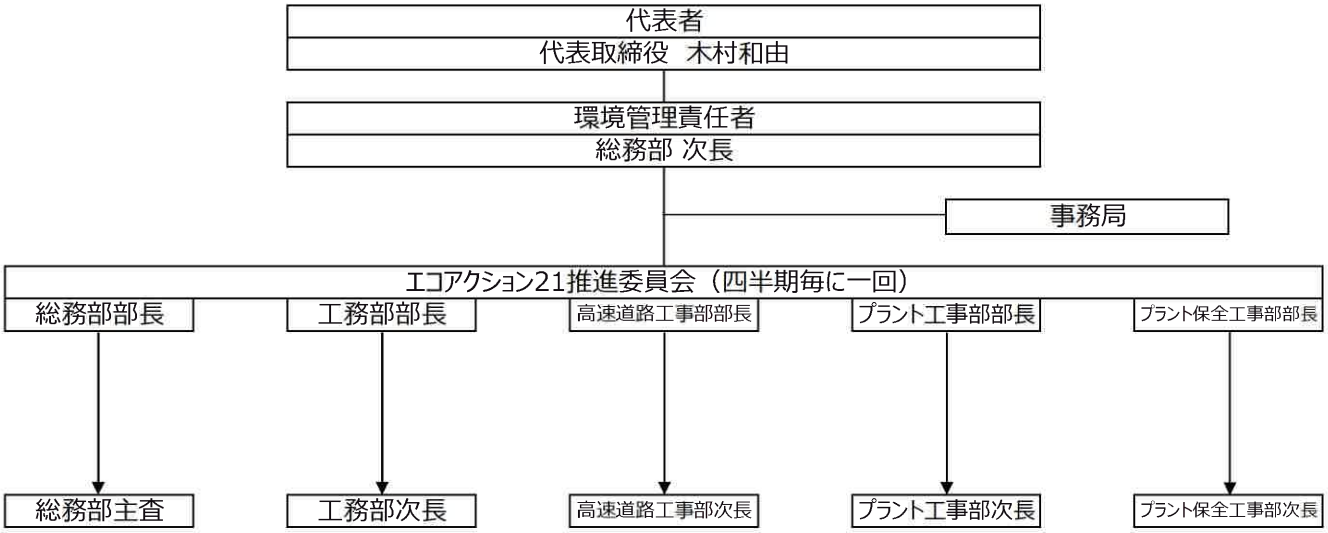
5．事業内容
建設業許可番号　　：　大分県知事許可（特－8）第 5094 号
許可の種類　　：　電気工事業
建設業許可番号　　：　大分県知事許可（般－8）第 5094 号
許可の種類　　：　電気通信工事業
建設業許可番号　　：　大分県知事許可（般－8）第 5094 号
許可の種類　　：　管工事業

6．環境管理責任者および担当者連絡先
環境管理責任者　　：　総務部 次長
担当者　　：　総務部 主査
電話番号　　：　097-521-7181
FAX 番号　　：　097-521-4603
e-mail　　：　office@shoei-densetsu.jp

7．車輌保有数
普通乗用車 2 台　普通トラック 7 台　普通バン 8 台　軽バン 6 台　軽トラック 1 台
○使用燃料：ガソリン・軽油

8．認証登録対象
全組織及びプラント工事，高速道路工事，電気設備工事を対象とする。

EA21実施体制



役職	
代表者	環境経営方針の制定と、EA21環境マネジメントシステムの統括 環境管理責任者の任命 取組状況を評価し、全般的な見直しの実施及び指示 環境への取組を適切に実行するための資源(人・もの・金)の準備
環境管理責任者	代表者より委任を受け、システムの構築、運用、維持に関する責任と権限を有する 環境経営計画の策定及び推進管理を代表者へ報告 環境関連法規の取りまとめと評価及び環境活動レポートの確認・公表
事務局	環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境関連文書、記録管理 活動における決定事項を社員全般に伝達及び環境活動記録の取りまとめ 外部環境コミュニケーションに関する窓口 環境関連法規の取りまとめと環境経営レポートの作成、環境管理責任者へ報告
エコアクション21 推進委員会	環境経営目標、環境経営計画の伝達 各部門の実施状況、目標達成状況、問題点の報告 各部門における環境活動及び環境経営計画の企画・作成・実施 各部門における環境活動の実施、目標達成状況を推進委員会に報告 各部門における現場内で発生する緊急事態への対応訓練と記録を事務局に報告 各部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する 環境経営方針、環境経営目標を理解するとともに、環境活動に積極的に参加する 環境活動における改善点を見つけ出す

環 境 経 営 方 針

〈基本理念〉

弊社は，「輝く未来」をテーマに掲げ，創意工夫のもとに社会の発展を図り，地域・社会に貢献できる企業を目指します。

その事業活動において生じる，産業廃棄物等による環境への影響を最小限に抑え，自然を守るために，以下の行動指針を基に環境マネジメントシステムを構築し，継続的に改善していきます。

無駄なく，より少ない資源で電気工事を行うことは，企業活動の効率化に繋がることにもなるため，積極的に推進していきます。

〈行動指針〉

1．日常業務において環境に与える影響を把握し，技術的，経済的に可能な範囲で次の各項目を環境管理の重点課題として取り組み，環境負荷の低減と環境汚染の予防に努めます。

a 省エネルギーを推進し，環境影響（二酸化炭素排出）を低減します。

b 事業廃棄物の発生を制御し，再利用及びリサイクルを推進します。

c 水使用量を削減します。

d 環境負荷低減に貢献できる優れた製品，サービスおよび施工方法を提供します。

これらについて環境経営目標・環境経営計画を定め，定期的に見直しを行い継続的な改善に努めます。

2．弊社の事業計画活動に関わる環境関連の法規制及び，その他の要求事項を厳守して，継続的に取り組みます。

3．この環境経営方針は，全社員に周知し，これを理解し実践できるよう教育活動を推進して，弊社の環境保全活動について，ご理解していただくために一般の方々にもこの環境経営方針を含め環境経営レポートを公開します。

制定日：２０１７年　2月1日

改定日：２０１９年１２月2日

松栄電設工業株式会社

代表取締役　木村 和由

中期環境経営目標

【各年度の対象期間は、決算年度　６月～翌年　５月】

環境方針の番号	選択課題	50期(基準年度)（2024年度）実績	51期（2025年度）目標	52期（2026年度）目標	53期（2027年度）目標
1	二酸化炭素排出量削減（ＣＯ2排出量）（kg-CO_2）	153,892	152,353 △１%	150,814 △2%	149,275 △3%
1-1	電力消費量削減（電気消費量）（ｋＷｈ）	28,247	27,965 △１%	27,682 △2%	27,400 △3%
1-2	ガソリン消費量削減（ガソリン消費量）（　Ｌ　）	22,564	22,338 △１%	22,113 △2%	21,887 △3%
1-3	軽油消費量削減（軽油消費量）（　Ｌ　）	34,398	34,024 △１%	33,681 △2%	33,337 △3%
2-1	一般廃棄物リサイクル率（％）	80	80 ±0	80 ±0	80 ±0
2-2	産業廃棄物リサイクル率（％）	80	80 ±0	80 ±0	80 ±0
3	水使用量削減（水使用量）（m^3）	233	231.0 △１%	228.0 △2%	226.0 △3%
4	環境に配慮した施工管理	全件	全件	全件	全件

（注記）

1.電気の二酸化炭素排出係数は，2024年度九州電力調整後係数0.421kg-CO_2／kWhを使用

2.灯油，LPGは使用量が少ないので，目標には設定せず，日常活動で管理していく。

3.二酸化炭素排出量は灯油・LPGを含む。

4.53期（2027年度）までの目標は，50期（2024年度）の△1%，△2%，△3%として取組む。

5.負荷実績は、建設業者向けガイドライン別表を使用。

環境経営計画と評価 2025年度（第51期）

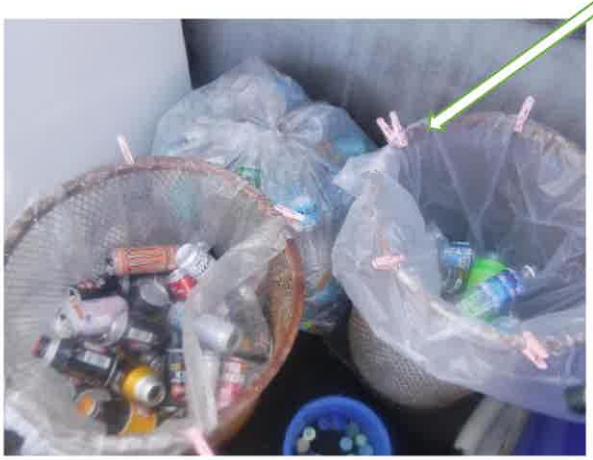
環境方針の番号	目標課題	具体的な行動（活動）	対象部門	評価
1	二酸化炭素排出量削減			
1-1	電力消費量削減	1. 不使用場所の消灯	総務部	○
		2. 業務終了後のPCシャットダウン	全部門	○
		3. 適正な冷暖房温度	全部門	○
		4. 更新時、節電型機器の導入	総務部	○
1-2	ガソリン消費量削減	1. エコドライブの徹底(急発進・急停車の抑制等)	全部門	○
		2. アイドリングストップ	全部門	○
		3. 更新時、低燃費車の導入	全部門	○
		4. 車両運行管理システムの導入	全部門	○
1-3	軽油消費量削減	1. エコドライブの徹底(急発進・急停車の抑制等)	全部門	○
		2. アイドリングストップ	全部門	○
		3. 低燃費車の導入	全部門	○
		4. 車両運行管理システムの導入	全部門	○
2-1	一般廃棄物のリサイクル	1. 社内で定めた分別にてゴミ袋を分けて排出	総務部	○
		2. 廃棄物コンテナに分別標識を取り付ける	総務部	○
		3. 正確な分別によるリサイクル量の向上	総務部	○
2-2	産業廃棄物のリサイクル	1. 現場ごとに定められた分別法に従う	全部門	○
		2. 廃棄物コンテナに分別標識を取り付ける	全部門	○
		3. 正確な分別によるリサイクル量の向上	全部門	○
		4. マニフェストを活用しての管理	全部門	○
3	水使用量削減	1. 節水コマの使用	総務部	○
		2. 洗濯時の水量削減	全部門	○
		3. 水のかけ流しをしない	全部門	○
4	環境に配慮した施工管理	1. 環境負荷の少ない材料の使用	全部門	○
		2. 現場及び周辺の安全環境配慮	全部門	○
		3. ICT工法等の導入	全部門	○

○：達成、△：一部達成、×；未達成、－：該当無し

環境活動

節水ステッカー

ごみ分別



照明のLED化

節電ステッカー

消灯

節水コマ

産廃保管場所表示

産廃処理

環境経営活動の実績と評価、次年度の取組内容

対象期間：2025年6月～2026年5月（第51期）

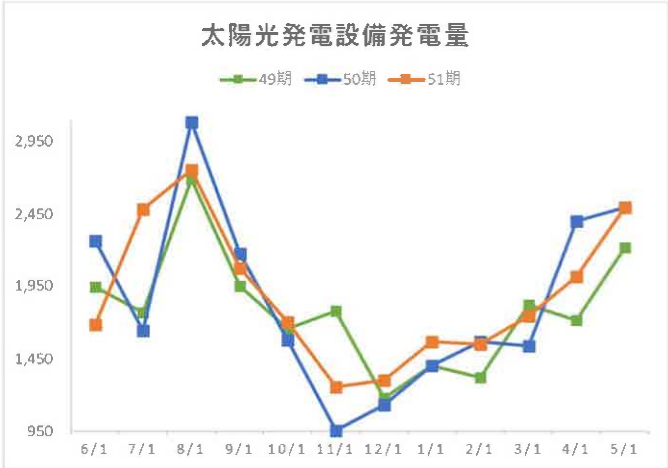
評価基準：○100%以上　△90%以上100%未満　×90%未満

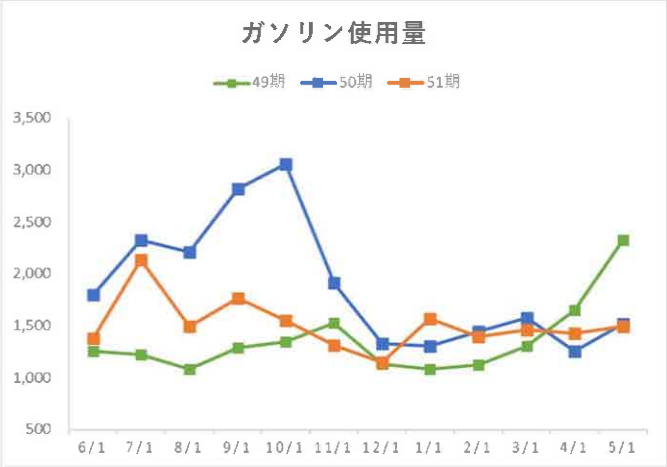
環境方針番号	選択課題		基準年度50期（2021年度）	51期（2025年度）目標△1%	51期（2025年度）実績	目標達成率	評価
1	二酸化炭素排出量（kg-CO2）	数値	153,892	152,353	133,918	113.8%	○
		評価と次年度の取組内容	目標達成率114%。猛暑だったが電気自動車の購入や夜間作業に伴い昼間の管内電力の抑制によりCO2の削減に繋がった。 今後もにガソリン・軽油の使用料の抑制をしSDGS対策と合わせて節約に取り組んでいくが気候状況・社会環境を鑑みた対応をしていく。				
1-1	電力使用量（kWh）	数値	28,247	27,965	30,265	92.4%	△
		評価と次年度の取組内容	近年増加している。基準年度からは10%以上。昨今の猛暑におけるエアコンの使用量増加。熱中症対策も義務化され社員の身を守る為の取り組みも必要。気候状況に左右される事が大きいが使用に際し無駄を省いて対応していく。				
1-2	ガソリン使用量（L）	数値	22,564	22,338	18,141	123.1%	○
		評価と次年度の取組内容	出張工事、遠方での工事が増加した事が大きな要因。継続して古い社有車を新車に変えた事等により多少燃費向上につながった。今後もエコ運転を目標としガソリン使用抑制していく。				
1-3	軽油使用量（L）	数値	34,398	34,024	30,655	111.0%	○
		評価と次年度の取組内容	ガソリンと同様出張工事、遠方での工事が増加した事が大きな要因。今年度は軽油使用車も新車への入替を行う予定でさらなる燃費向上を目標にし達成を目指していく。また、適時車両入替を行い、燃費向上に努め削減に取り組んでいく。				
2-1	一般廃棄物リサイクル率（%）	数値	80	80	80	100.0%	○
		評価と次年度の取組内容	リサイクル可能な廃棄物に関しては、分別を行い80%行えている。今後は、会社から出る廃棄物事態を削減出来るようさらにゴミの分別に取組、SDGSに取り組んでいく。				
2-2	産業廃棄物リサイクル率（%）	数値	80	80	80	100.0%	○
		評価と次年度の取組内容	現場で出るリサイクル可能な廃棄物に関しては、分別を行い80%行えている。今後は、現場から出る廃棄物事態を削減出来るようさらにゴミの分別に取組、SDGSに取り組んでいく。				
3	水使用量（㎥）	数値	223	231.0	250	92.4%	△
		評価と次年度の取組内容	猛暑等もあり社内での水使用量が増加。現場での水使用に伴いトンを超える水量を使用した事も影響している。今後も社内で節水に取り組みを行い目標値達成を目指していく。				
4	環境に配慮した施工管理	数値	-	推進する	推進した	100%	○
		評価と次年度の取組内容	環境負荷の少ない資材の使用並びに現場等での安全環境の配慮を実施。SDGSを意識した施工管理を行い取り組みを実施した。大きくは電気自動車の購入。今後も環境に配慮した運営を目指し取り組んでいく。				

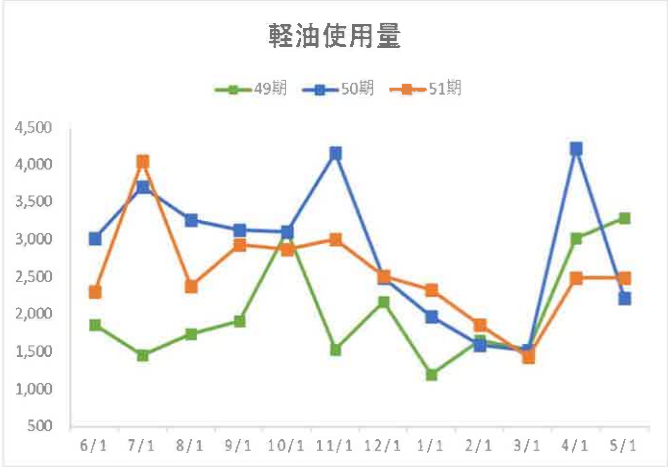
※2024年度の九州電力二酸化炭素調整後係数：0.421kg-CO_2/kwh
http://www.kyuden.co.jp/enviroment_notice.html

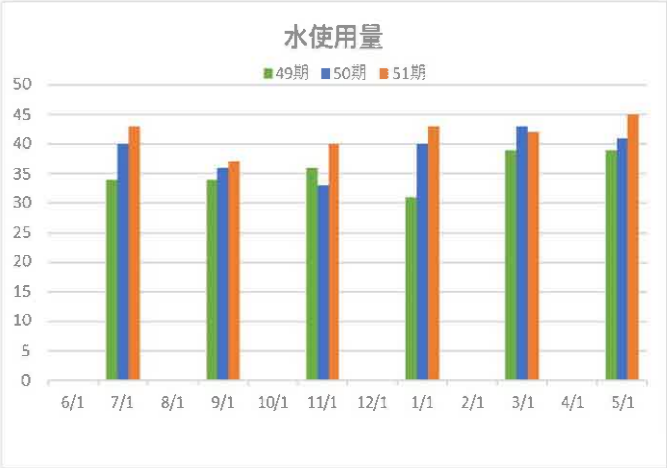
※目標達成率=（目標値）／（実績値）

活動実績グラフ









☆49期 ■（2023年度）
☆50期 ■（2024年度）
☆51期 ■（2025年度）

環境関連法規の遵守状況

法規制	適用条項	事項	状況	チェック者	確認日
廃棄物処理法	三章 十二条	廃棄物の処理 （□60ｃｍ以上の表示）	遵守	現場担当	6/8
		廃棄物排出 事業者との 委託契約	契約済	総務部担当	6/8
		マニフェストの 交付Ａ票	保管済	総務部担当	6/8
		マニフェストの回収 （B2，D，E票）	保管済	総務部担当	6/8
		管理表状況報告	提出済	総務部担当	6/8
消防法	二章三条	消火器の点検	有効期限確認済	総務部担当	6/8
電気工事法	三条	免状の写しの保管	保管済	総務部担当	6/8
自動車リサイクル法	二章八条	車両入替時の 適切な処理	遵守 購入業者に委託	総務部担当	6/8
グリーン購入法	五条	環境物品の選択	遵守	総務部担当	6/8
家電リサイクル法	六条	エアコン，冷蔵庫 洗濯機の適正処分	該当無し 購入業者に委託	総務部担当	6/8
（PC）リサイクル法	六条	PCの適正処分	該当無し 購入業者に委託	総務部担当	6/8
大分市環境 基本条例	五条	事業者の責務	遵守	総務部担当	6/8
フロン排出 抑制法	一章二条	空調機器室外機の定期点検	目視点検（点検書類は保管）	総務部担当	6/8
		入替時適切な処理	領収書		
石綿障害予防 規則		事前調査義務化	有資格者による事前調査	現場担当	6/8
		有資格者による事前調査	遵守		

環境関連法規は遵守されていました。

外部からの苦情等の受付結果

苦情・訴訟等は確認されませんでした

代表者による全体の評価と見直し記録

保管期限　：作成日より3年間

環境情報	環境経営管理責任者の所見	代表者のコメント
1　環境関連法規等の遵守状況確認結果	各種法規は遵守した。	各種法規を遵守した。引き続き厳正な処理を行っていく。
2　環境経営目標の達成状況	作業現場や作業内容に左右された面があったが，目標達成率100%前後を達成することができた。	引き続き意識づけしながら、使用量及び排出量の削減を目指す。
3　環境経営活動計画の実施状況	引き続き評価の向上に向けて取り組んでいく。	全従業員で継続しながら評価の向上を目指していく。
4　問題点の是正、予防の状況	問題点はなかった。	問題点はなかった。引き続き注意していきたい。
5　外部からの苦情の有無及び対応結果	51期を通し，苦情はなかった。	今後も全従業員で苦情０を継続していく。
6　環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	全従業員に周知徹底させた。	今後も全従業員に周知徹底しながら，災害0を継続していく。
7　その他	特になし。	特になし。

見直しの必要性判断と代表者の指示		
	①環境経営方針	継続していく
	②環境経営目標	継続していく
	③環境経営活動計画	継続していく
	④環境経営システム	継続していく
	⑤実施体制	継続していく
	その他の指示	特になし

作成日　　2026年7月15日

代表者　　木村　和由